

これからの透析クリニックの経営戦略

～血液透析患者減少への対応策としての腹膜透析と在宅終末期ケア～

主催:株式会社GCI

助成:公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

開催日時：2026年2月14日（土）14:00～
参加費無料 / 先着順

【講演概要】

人口の高齢化により血液透析患者が減少傾向にある昨今注目されつつある腹膜透析。本セミナーでは、終末期患者の高QOLと通院困難による患者離れ克服を同時に実現する経営戦略を導入している透析クリニックの実践をご紹介します。
講演終了後、ご希望者には腹膜透析機器に触れて頂くことができます。



【講師】 今村克郎 先生

医療法人
今村クリニック院長
日本腎臓学会専門医

※プロフィールは裏面をご覧ください



【会場】TKP カンファレンスルームD

横浜ランドマークタワー25F
桜木町駅より 徒歩5分
みなとみらい駅より徒歩5分

※詳しくは裏面をご覧ください

【医療法人今村クリニックの取り組み】

1994年福岡県北九州市にて血液透析クリニックとして開業したが、人口高齢化という大きな外部経営環境の変化に対応し、腹膜透析と腎臓リハビリを開始。現在はさらに、地域の中核病院、在宅医、訪問看護、ケアマネと連携し、HDからPD転換したケースも含めPD在宅看取りも先駆的に実践している。



お申し込みはこちらから→

◆ 参加費無料 / 先着順

(定員になり次第締め切らせていただきます)



EventRegistへの
無料登録が必要です

【お問い合わせ】 電話：050-6861-0777（担当：山口）



【講師プロフィール】 医療法人今村クリニック院長 今村克郎 先生

<ご経歴>

- ・2000年 九州国際大学附属高等学校卒業
- ・2005年 東亜大学工学部医療工学科卒業＞臨床工学技士免許取得
- ・2005年4月～2006年3月 九州厚生年金病院（現JCHO九州病院）MEセンター
- ・2015年 藤田保健衛生大学（現藤田医科大学）医学部卒業＞医師免許取得
- ・2015年4月～2017年3月 産業医科大学病院初期臨床研修
- ・2017年4月～2018年3月 小倉記念病院腎臓内科
- ・2018年4月～2019年3月 門司掖済会病院腎臓内科
- ・2019年4月～2022年6月 田川市立病院腎臓内科
- ・2022年7月 今村クリニック腎臓内科勤務開始
- ・2024年4月 今村クリニック院長就任

<所属学会および資格>

- 日本腎臓学会専門医
- 日本内科学会認定内科医/認定JMECCインストラクター
- 日本老年医学会老年科専門医/高齢者栄養療法認定医
- 日本病院総合診療医学会認定医
- 日本透析医学会
- 日本腹膜透析医学会認定医
- 日本透析アクセス医学会VA血管内治療認定医
- 日本腎臓リハビリテーション学会腎臓リハビリテーション指導士
- 多発性嚢胞腎協会PKD認定医
- 日本腎代替療法医療専門職推進協会腎代替療法専門指導士
- 日本旅行医学会認定医
- 日本医師会認定産業医/認定健康スポーツ医
- ICD制度協議会認定ICD（インフェクションコントロールドクター）
- 日本DMAT隊員（田川市立病院所属）
- 日本救急医学会認定ICLS・BLSコースディレクター
- 日本不整脈心電学会心電図検定2級
- 臨床工学技士免許

【株式会社GCIについて】

2010年米国在宅ホスピスを経験した創業者により設立される。当初は成人がん患者を主な対象としていたが、小児、非がんを対象を広げ、2022年より腎疾患のホスピス緩和ケア事業を開始。在宅PD看護はその中核であり2025年12月現在9名のPD患者の訪問看護を担当している。

▶組織理念

世界最高水準の在宅ホスピス・緩和ケアの提供を通じて、地域社会、日本、そして世界のウェルビーイングの向上に貢献すると共に、参画人員全員のリーダーシップと参画人員間のチームワークの育成を通じて、参画人員個々の職業人としての資質向上と、人間としての成長に貢献する。

▶拠点一覧

- 本部 在宅ホスピス・緩和ケア推進部
- 訪問看護ステーション芍薬（横浜市神奈川区）
- 訪問看護ステーション芍薬瀬谷（横浜市瀬谷区）
- GCIケアリング芍薬 -居宅介護支援-（横浜市神奈川区）
- 訪問看護ステーション芍薬 -計画相談-（横浜市神奈川区）

ホームページはこちら
→



【会場アクセス】
TKP カンファレンスルームD
横浜ランドマークタワー25F
桜木町駅より 徒歩5分
みなとみらい駅より徒歩5分

1Fから25Fへのアクセスなど
こちらもご参照ください→



【お問い合わせ】 電話：050-6861-0777（担当：山口）